

集落営農組織の法人化を後押し ～「集落営農法人化セミナー」開催される～

美里町では1月22日に町産業振興課による「集落営農法人化セミナー」が開かれ、集落営農組合員ら約40人が参加した。



集落営農組織の法人化支援に詳しい株式会社舞台ファーム常務取締役の伊藤啓一さんが「最近の農業情勢と地域農業の担い手に求められるもの」と題して講演。その後、法人化した農事組合法人みらいす青生代表理事齋藤昌徳さんと農事組合法人タカギ農産代表理事日下浩一さんから、自社の法人化に至る経緯や地域との関わり方、土地利用

型野菜などの取り組みについて事例を紹介。さらに、農業法人の税務指導に携わる三井信一税理士から「営農組合と法人で何が変わる～経理の面から～」と題しての講演が行われた。

セミナー参加者からは「各講師のお話を聞いて、集落営農の法人化の必要性を改めて認識した。先行して法人化している事例も今後の取り組みの参考になった」などの感想があった。

集落営農組織の法人化推進を担当する町産業振興課産業活性化戦略室の川名秀明さんは「町にはこれまで複数の法人化を支援してきたノウハウがある。気軽に相談していただきたい」と話す。